

京都大学では、「越境する知の拠点」を研究力強化の方針に掲げ、新たなURAの雇用を含む京都大学URAネットワークの拡充、「融合チーム研究プログラム」「新・ジョン万プログラム」「百家争鳴プログラム」などによる研究環境改革とともに、人事労務制度改革に取り組み、大学の研究力強化を図ります。

研究力強化

URAの雇用

人事労務制度改革

学際・国際・人際
融合事業

研究力強化の方針「越境」する知の拠点

- 人材多様性の確保（世代と性別を越える）
- 国際化の推進（地域・文化を越える）
- 未踏領域・未科学への挑戦（学問領域を越える）
- イノベーションの創出（アカデミアと社会の垣根を越える）
- 持続的全体最適化（組織・制度の壁を越える）

京都大学の「強み」	「これまでの取組」	京都大学の「弱み」
研究者の高い志と能力・広く深い多様性 未踏領域に挑戦する伝統	大学院改革・人材登用 国際化・研究推進体制	若手教員・留学生 国際共著数

URA 雇用計画・職務環境整備


学術研究支援室(本部URA組織)
※URA配置済(文科省URA事業経費)


URA
URA

新たな URA 20名 配置

4名
9名

京都大学
URAネットワーク
強化

京大総研(仮称)
設置

連携

連携

連携

16名

研究支援組織

国際交流推進機構
 情報環境機構
 産官学連携本部
 学際融合教育研究推進
 センター

部局URA組織

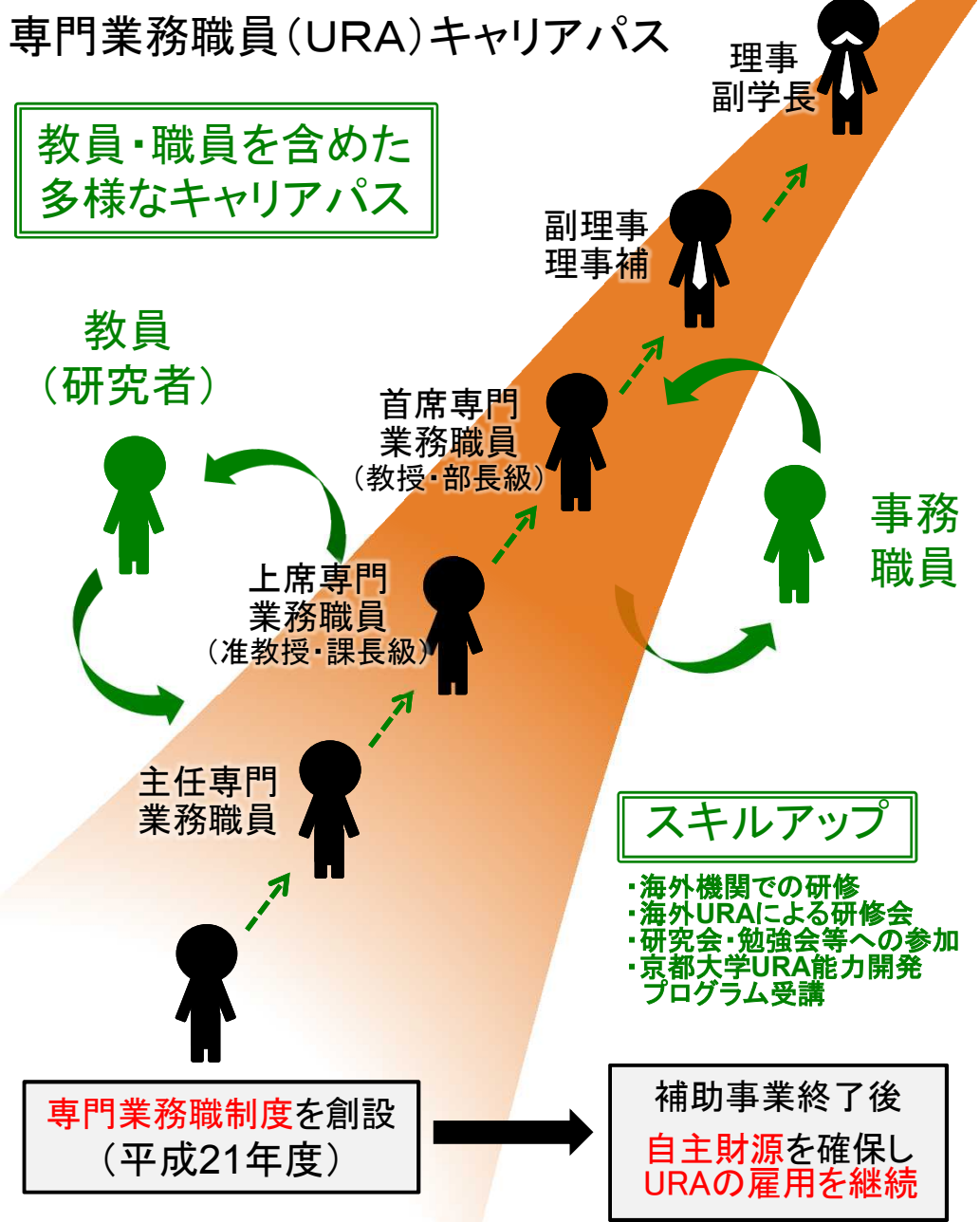
※URA配置済
(京都大学自主経費)

21名

URA

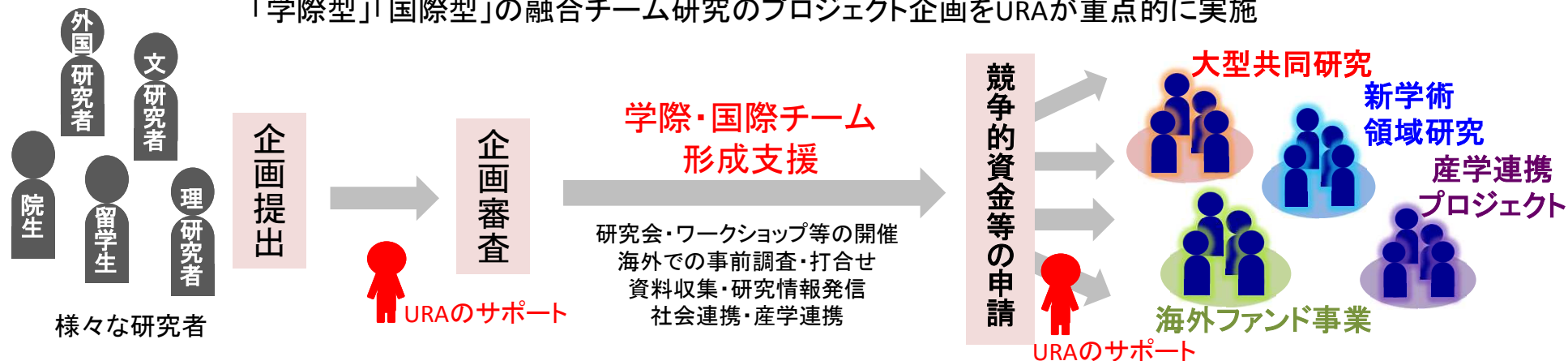
一体的・横断的な支援

「未踏領域・学際融合研究の推進」
 「産学連携マッチング機能の強化」
 「研究情報データベースの基盤整備」
 「国際支援体制の充実」



融合チーム研究プログラム

「学際型」「国際型」の融合チーム研究のプロジェクト企画をURAが重点的に実施



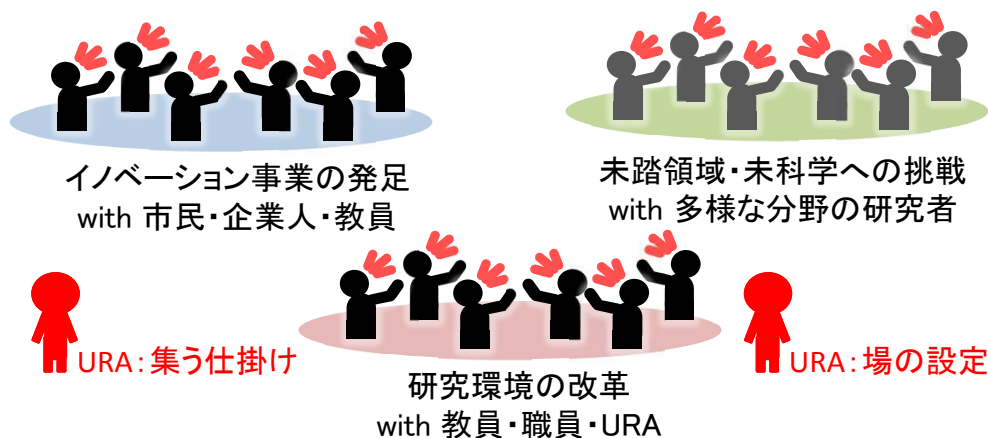
新・ジョン万プログラム

研究者に加え研究推進・支援スタッフの海外武者修行サポート



百家争鳴プログラム

分野・組織を越えた喧々諤々の議論の場をプロデュース



優秀かつ多様な人材確保に向けた取組

RAの給与上限額
引き上げ
大学院生支援の充実

テニュアトラック
制度拡充

サバティカル
制度促進

卓越した研究者への
待遇向上

若手研究者の研究環境の向上

- 安定的に研究に従事できる処遇
- 腰を据えて研究に専念できる仕組み作り
- 次世代を担う研究者の確保・育成

卓越した研究者に対するインセンティブ

- 海外機関等での在外研究を可能とする人事スキーム
- 卓越した研究者への研究専念環境・給与等の待遇改善
- 経験、実績を活かし、定年を越えて研究教育に従事、シニアアカデミーの設立

学内特区制度創設

未踏領域開拓
イニシアティブ機構

学内特区

テニュア
トラック
ユニット

特区機能①

卓越した研究者に対して能力・実績に応じた処遇
を検討(給与面、雑務免除・軽減)

特区機能②

テニュアトラック教員の公募・採用から研究支援まで
重点的にバックアップする体制を構築

先進的な取組を特区的に実施

制度設計を検証

優れた制度を全学展開へ